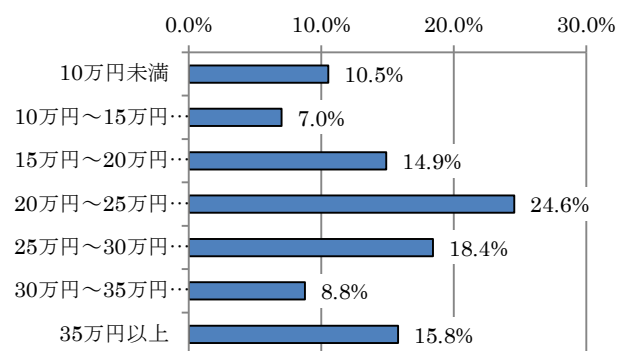


問 1 4 あなたの家計の1ヶ月の収入（手取額）と支出額について、各項目のあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。

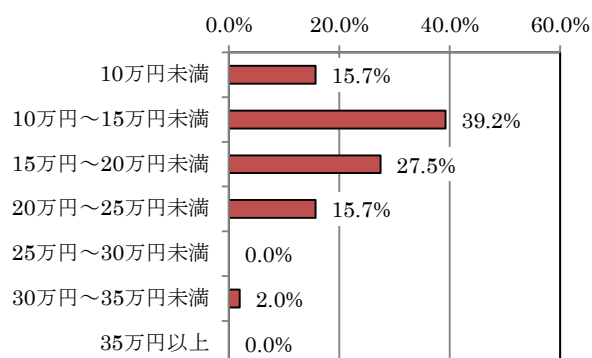
■既婚者

① 1ヶ月の収入（手取額） n=114

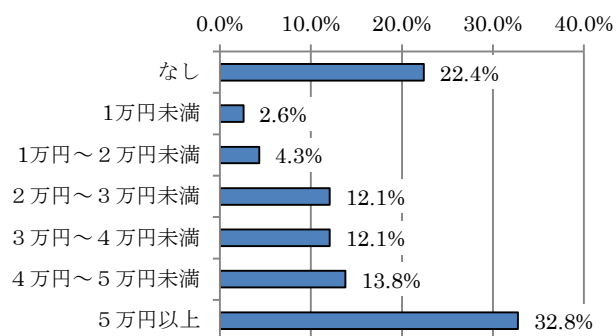


■未婚者

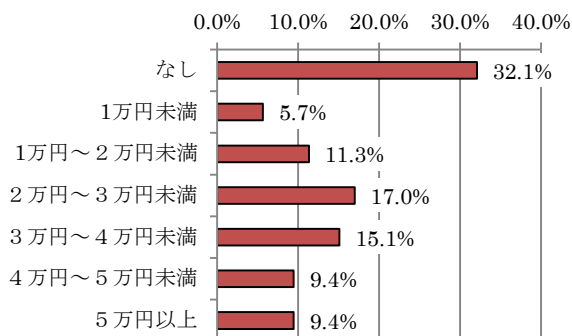
① 1ヶ月の収入（手取額） n=51



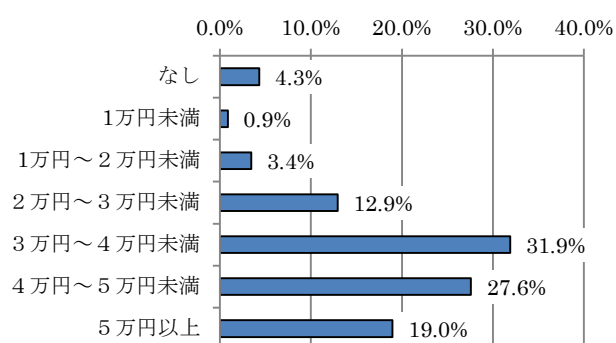
② 住居費家賃・住宅ローン返済など n=116



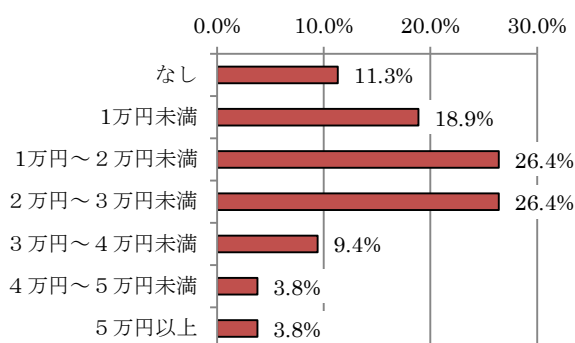
② 住居費家賃・住宅ローン返済など n=53



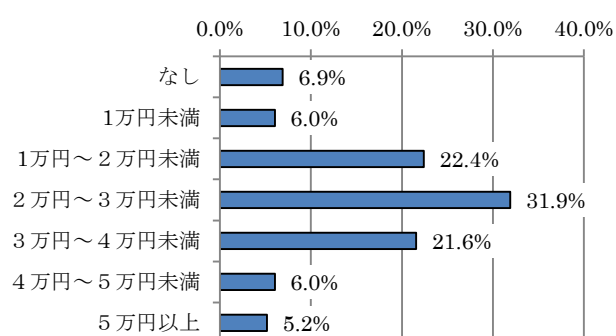
③ 食費 n=116



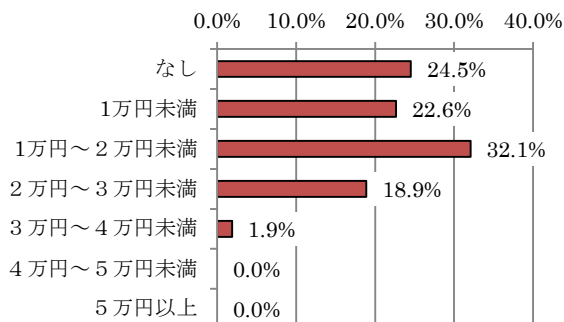
③ 食費 n=53



④ 水道光熱費 n=116



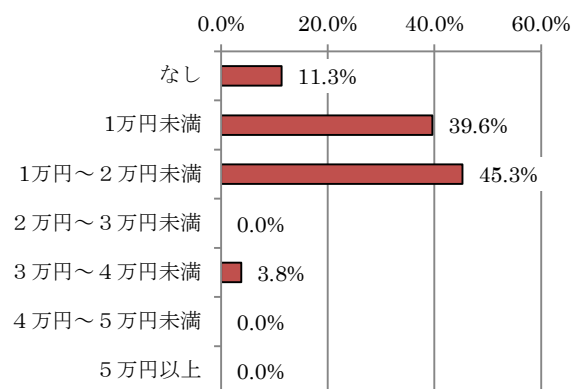
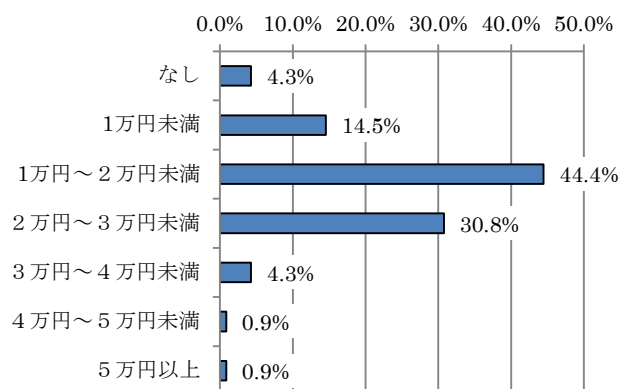
④ 水道光熱費 n=53



⑤通信費

n=117

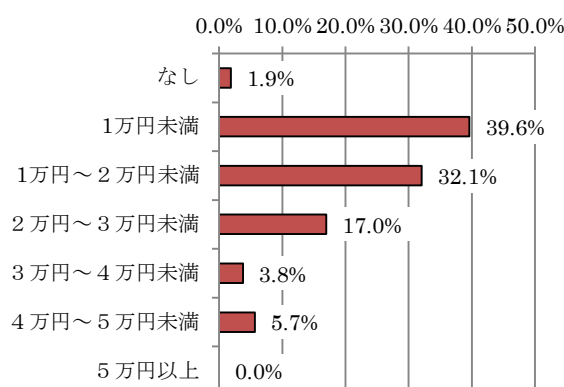
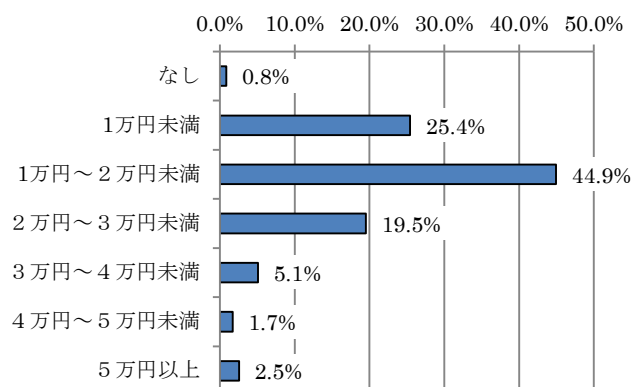
n=53



⑥被服費日用品費

n=118

n=53

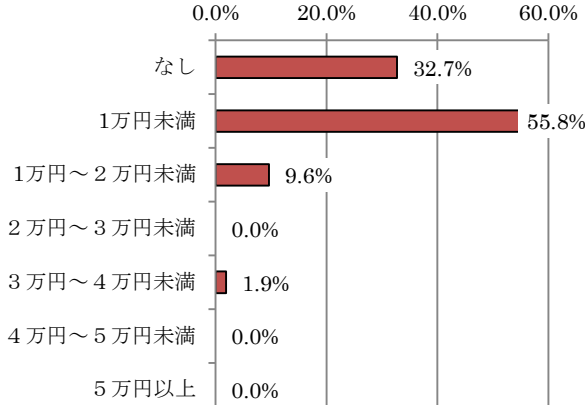
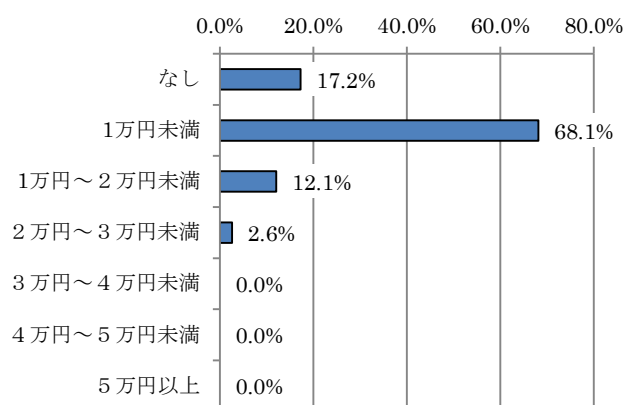


⑦医療費

※窓口負担額で選んでください

n=116

n=52

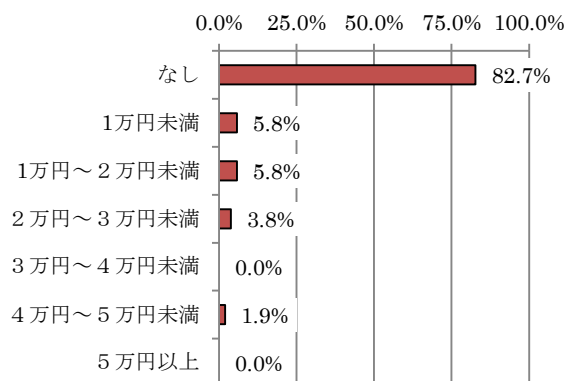
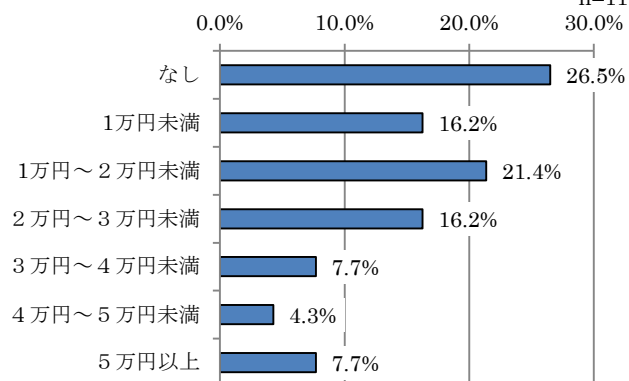


⑧子どもに係る教育費

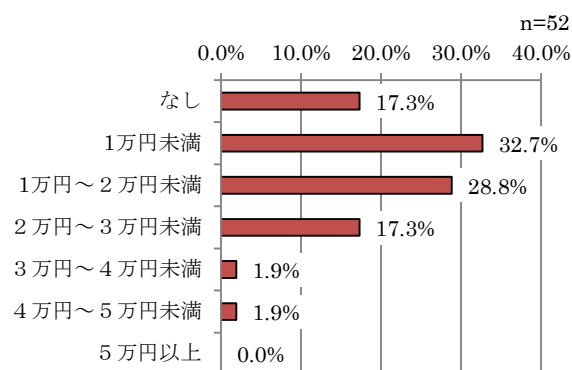
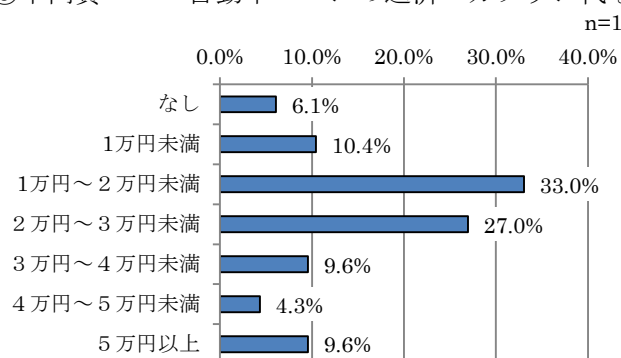
学費・学習塾費・教材費・習い事・少年団・保育料・保育サービス利用負担など

n=117

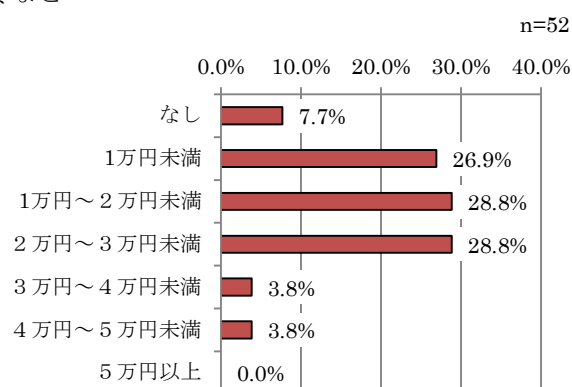
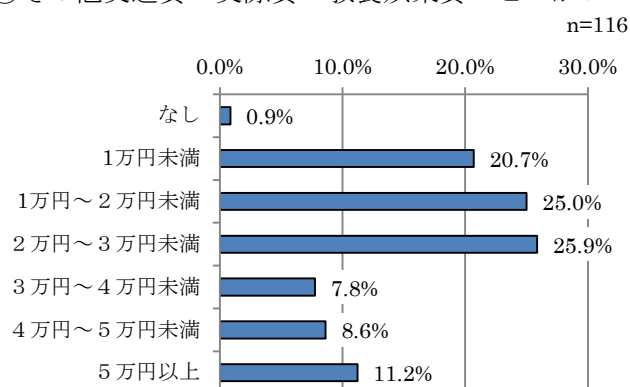
n=52



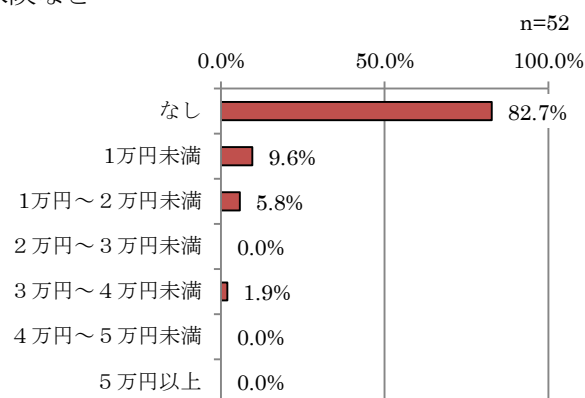
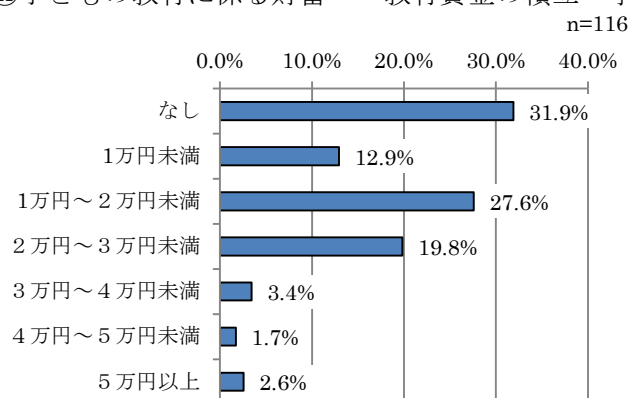
⑨車両費 自動車ローンの返済・ガソリン代など



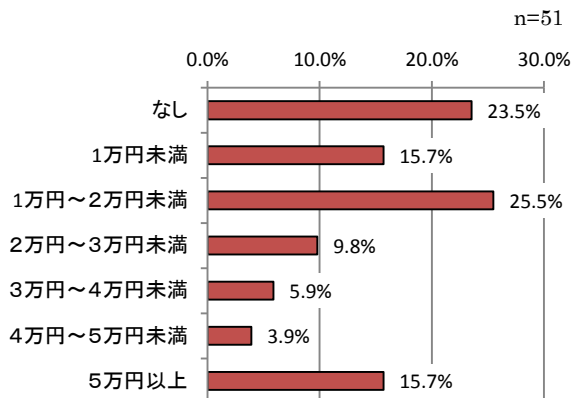
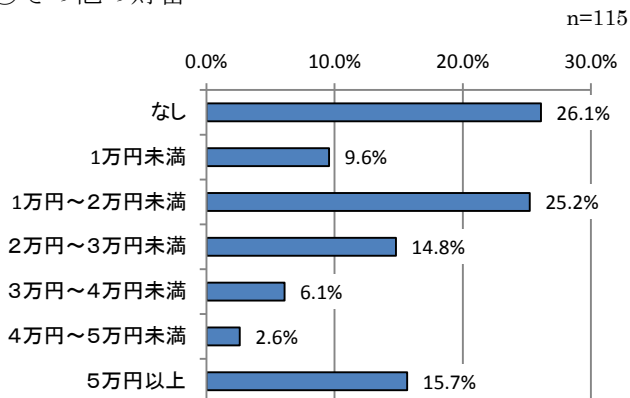
⑩その他交通費・交際費・教養娯楽費・こづかい・雑費など



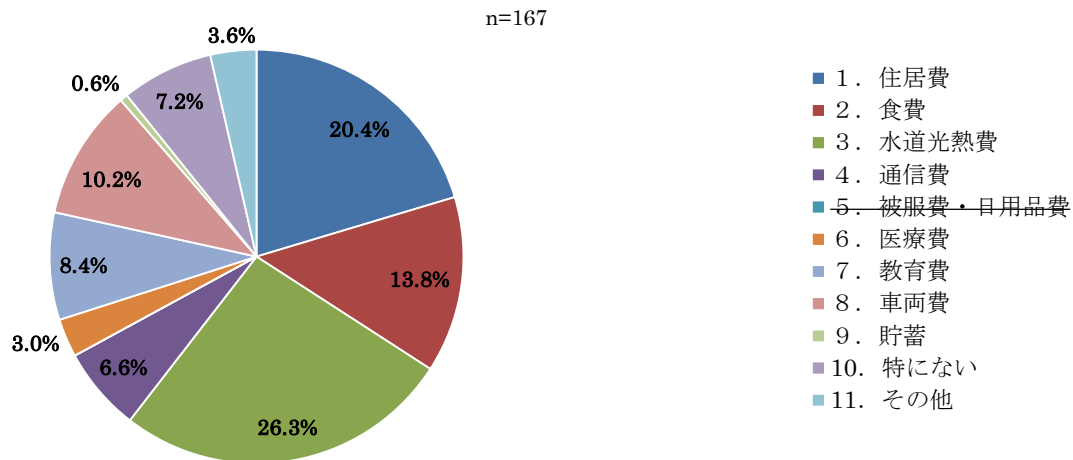
⑪子どもの教育に係る貯蓄 教育資金の積立・学資保険など



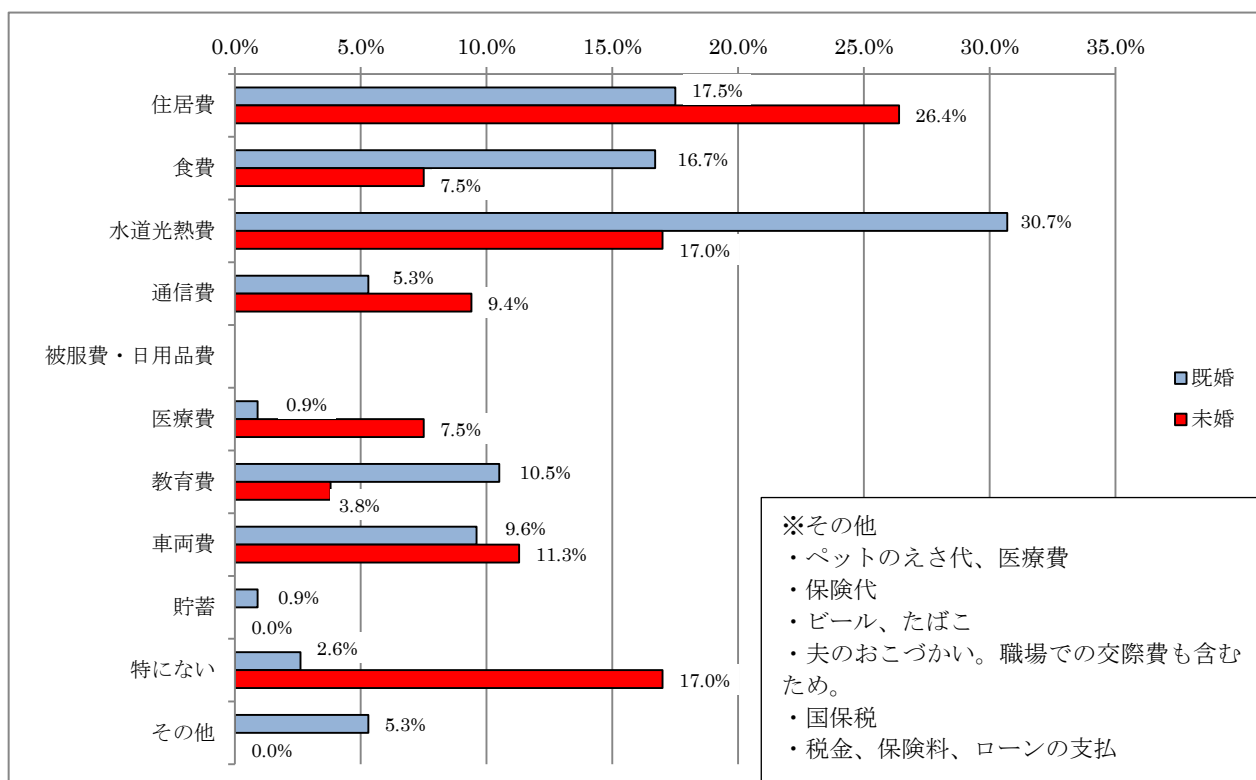
⑫その他の貯蓄



問 1 5 あなたの家計で、負担が大きいと感じている項目は何ですか。
次からあてはまる番号を一つ選んで○をつけてください。



■既婚・未婚別



家計において負担感が大きいと感じている費用については、「水道光熱費」が26.3%で最も多く、次に「住居費」20.4%、「食費」13.8%となっている。

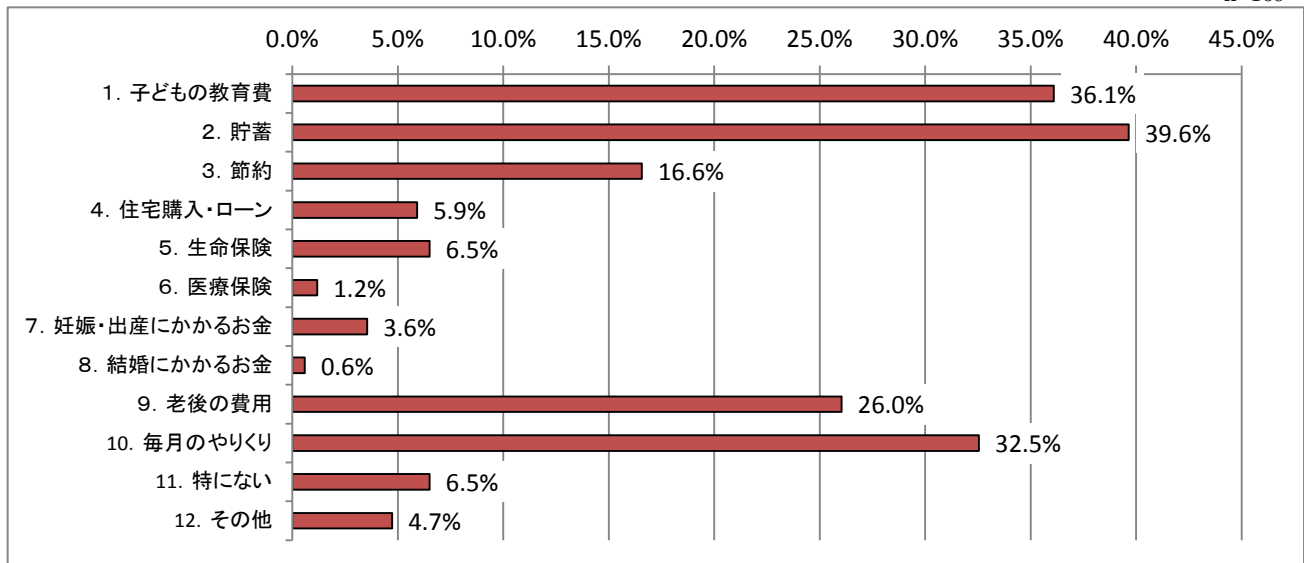
既婚者でも同様に「水道光熱費」次に「住居費」「食費」となっているが、「水道光熱費」の割合が高く、30.7%となっている。

一方、未婚者では、「住居費」が26.3%で一番多く、次に「水道光熱費」になっている。

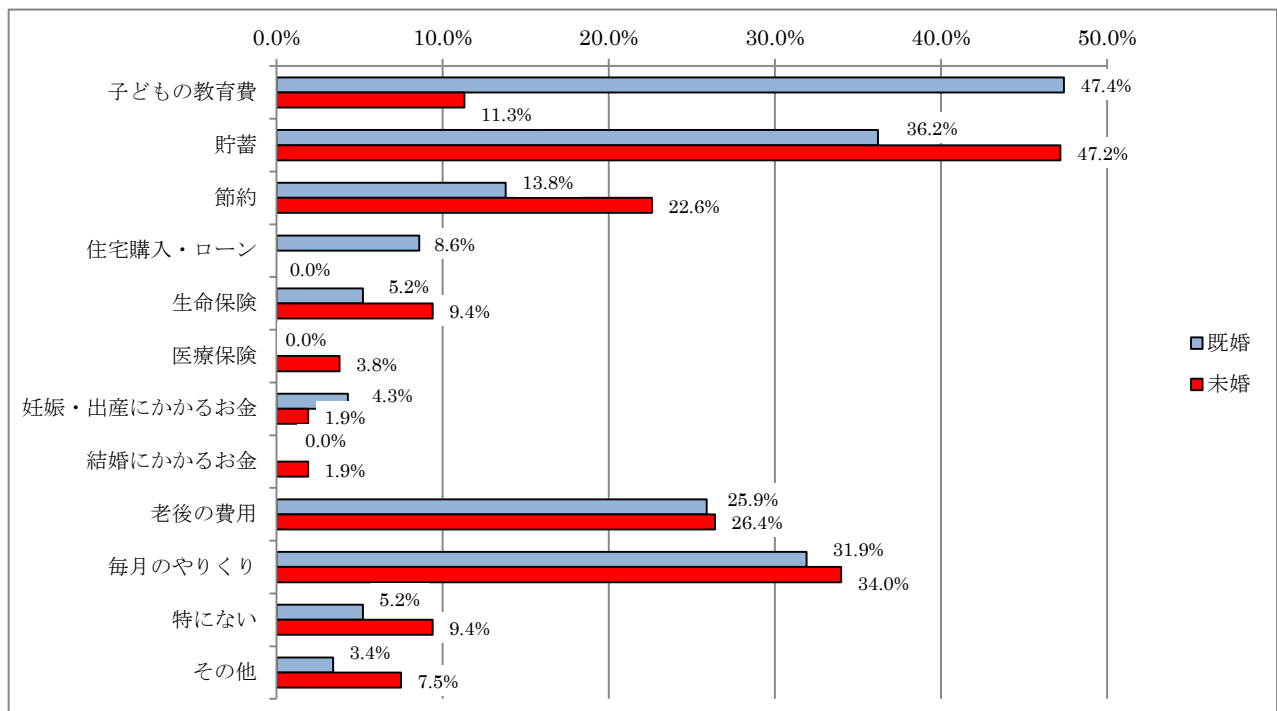
問 1 6 現在、気になっているお金の悩みは何ですか。

次からあてはまる番号を二つ選んで○をつけてください。

n=169



■既婚・未婚別



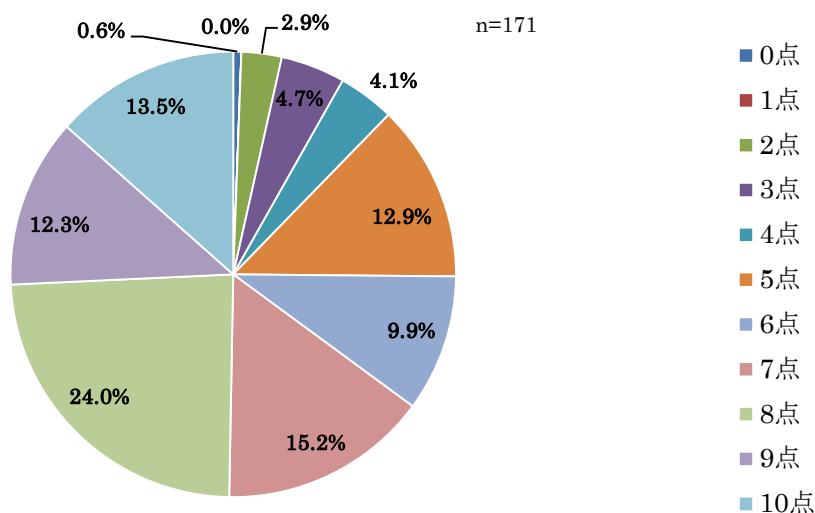
※その他

- ・私の個人的なお金は昔もらったお年玉を切り崩して使っています。
- ・電気料金が高い（オール電化なので）
- ・将来の夢のための資金集め
- ・水道光熱費が高すぎ
- ・起業に関わる費用
- ・税金、皆保険
- ・将来への投資
- ・低収入

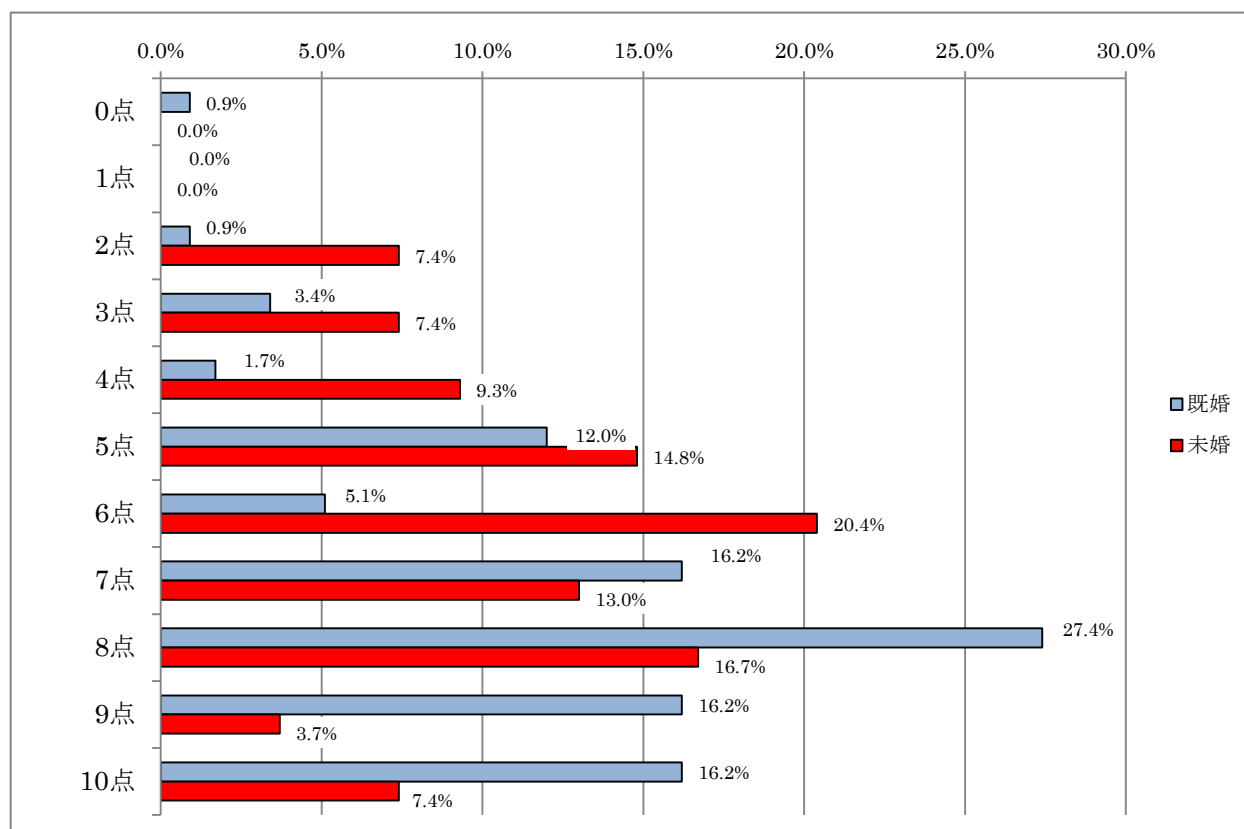
現在、気になっているお金の悩みとして、全体では「貯蓄」が 39.6%で一番多く、次に「子どもの教育費」36.1%、「毎月のやりとり」32.5%となっている。

既婚者では「子どもの教育費」が 47.4%で一番多く、未婚者では、「貯蓄」が 47.2%で一番多くなっている。

問 1 7 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると何点くらいになると思いますか。次からあてはまる点数を選んで○をつけてください。



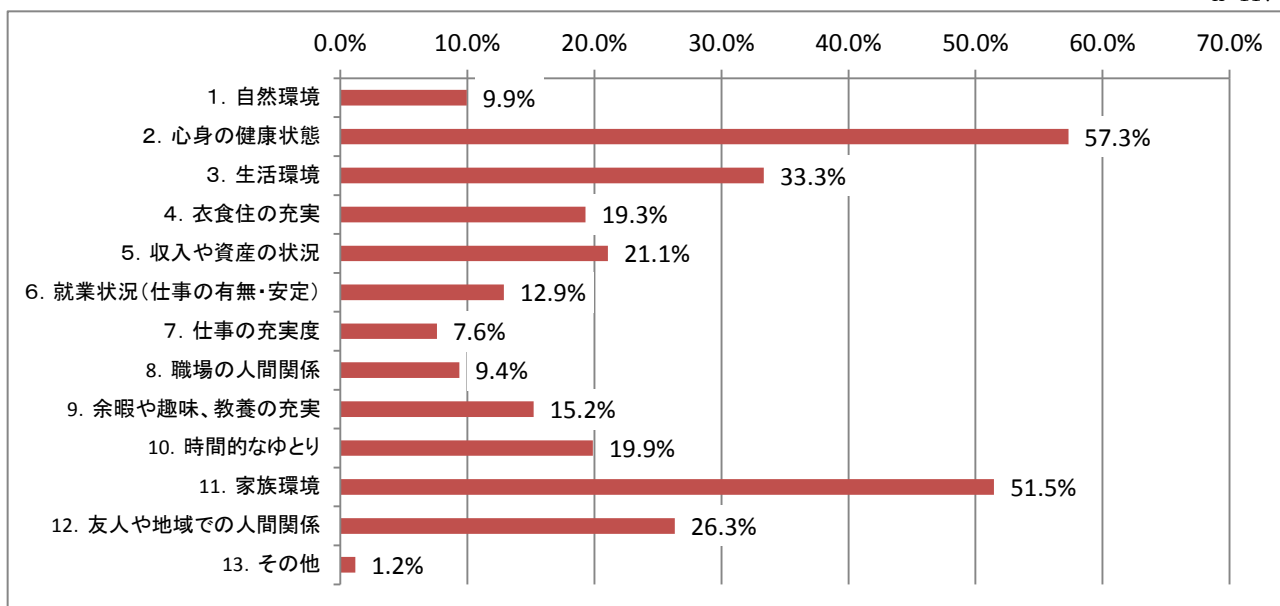
■既婚・未婚別



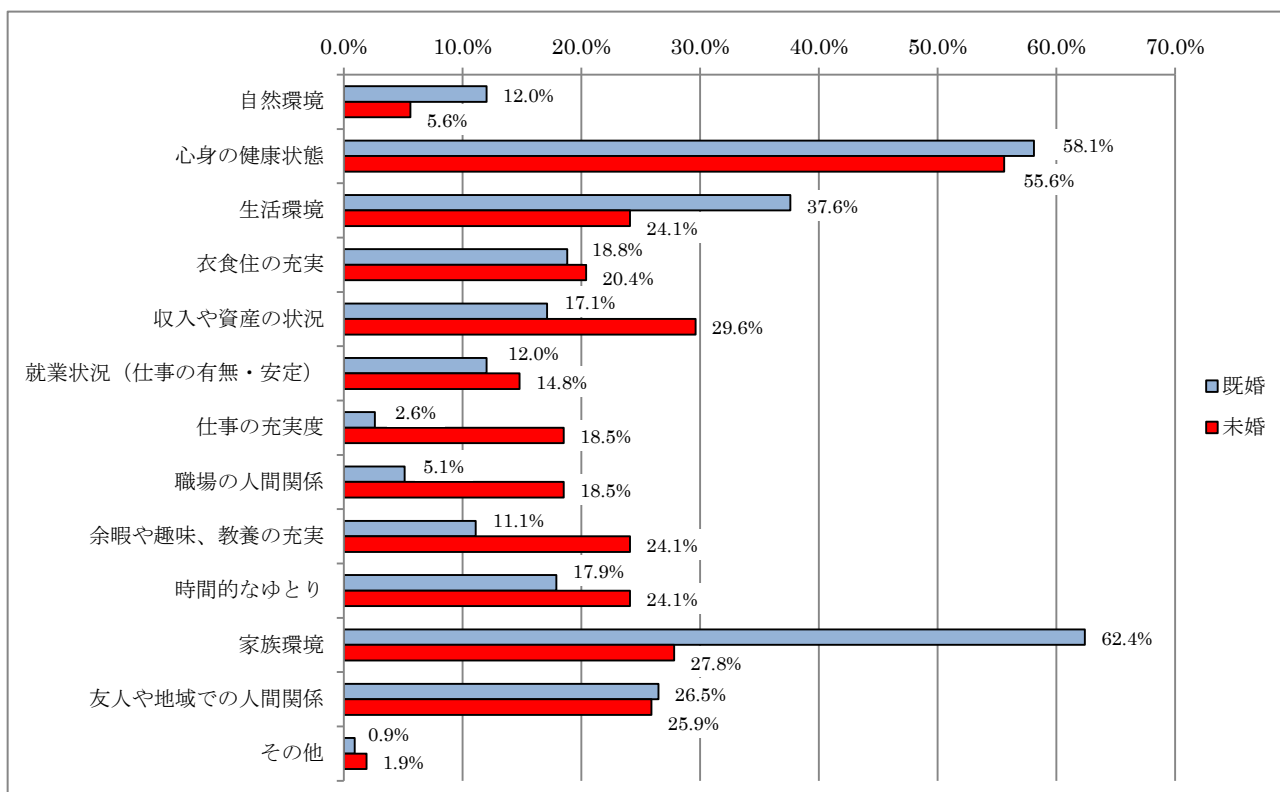
現在の幸福度を点数化したアンケート結果では、全体を平均すると 7.04 点で、「10 点」が 13.5%。また、既婚者では 7.50 点、未婚者では 6.02 点で、既婚者のほうが幸福度が高くなっている。

問 1 8 問 1 7 で幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。
次からあてはまる番号を三つ選んで○をつけてください。

n=117



■ 既婚・未婚別



※その他

- ・子どもと過ごす時間
- ・お金が他の人と比べれば少なくとも家族でゆとりのある生活をして友人や環境に恵まれている

幸福感を判断する際に重視した事項として、「心身の健康状態」が 57.3% で最も高く、次に「家族環境」となっている。既婚者では「家族環境」が 62.4% で最も多く、次に「心身の健康状態」、「生活環境」で、未婚者では「心身の健康状態」が 55.6%、次に「収入や資産の状況」、「家族環境」となっている。